

# 第85期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



会社紹介動画もございます。  
ぜひご覧ください。  
<https://www.hat-hd.co.jp/ir/douga>

橋本総業ホールディングス株式会社

証券コード:7570 <https://www.hat-hd.co.jp>

## ごあいさつ

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第85期中間決算を行ないましたので、そのご報告及び基本戦略につきましてご説明申し上げます。

当期におけるわが国の建設業界は、民間住宅投資、非住宅投資、公共投資すべてが昨年比プラスで推移する見通しです。

このような環境下、当社グループは、「**コロナ対策**」「**環境・エネルギー**」「**中古住宅流通・リフォーム**」「**健康・快適**」「**安全・安心**」「**地域活性化**」「**IT化**」＝「**7つのみらい**」を中心に今後とも積極的に取組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも

一層のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具



代表取締役社長  
**橋本 政昭**

## 企業理念

### 環境・設備商品の「流通」と「サービス」 を通じて、快適な暮らしを実現する

当社グループは「**環境・設備商品の流通とサービス**」を通じて、社会に貢献できる企業を今後とも目指してまいります。

そのために以下の「**3つのベスト**」を推進し、当社グループに関心を持って頂けるすべての方々に「**ありがとう**」といて頂ける企業を目指してまいります。

**設備のベストコーディネーター**  
～施主さま、工事業者さまに、  
ベストな設備をご提案

**流通としてベストパートナー**  
～得意先さま、仕入先さま、当社グループで  
3位1体のベストなしくみの構築

**会社としてベストカンパニー**  
～株主さま、社員、社会から  
ベストといわれる会社作り

## 当四半期の主なポイント

### 売上高

新型コロナウイルスによる市場低迷の影響が当年度から改善されたことを背景に、売上高は、**前年同期比8.2%増の658億円**となりました。

**658**億円  
前年同期比  
**+8.2%**

### 営業利益

販売費及び一般管理費が前年同期比7.0%増加し、売上総利益も増加したことにより、**前年同期比26.7%増の1,229百万円**となりました。

**1,229**百万円  
前年同期比  
**+26.7%**

### 経常利益

営業利益の増加及び営業外収支の増加により、経常利益は**前年同期比23.5%増の1,729百万円**となりました。

**1,729**百万円  
前年同期比  
**+23.5%**

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益の増加及び固定資産売却益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は**前年同期比56.8%増の1,458百万円**となりました。

**1,458**百万円  
前年同期比  
**+56.8%**

## 主なセグメント別営業の概況

### 管材類

経済活動の再開に伴う建築需要の回復により、**前年同期比7.1%増の189億円**となりました。

**189**億円  
前年同期比  
**+7.1%**

### 衛生陶器・金具類

リフォームを中心とした需要の高まりに加え、商品の安定供給に注力したことにより、**前年同期比12.6%増の203億円**となりました。

**203**億円  
前年同期比  
**+12.6%**

### 住宅設備機器類

新型コロナウイルスの影響により前年同四半期には低迷していた市場が改善したことにより、**前年同期比10.9%増の114億円**となりました。

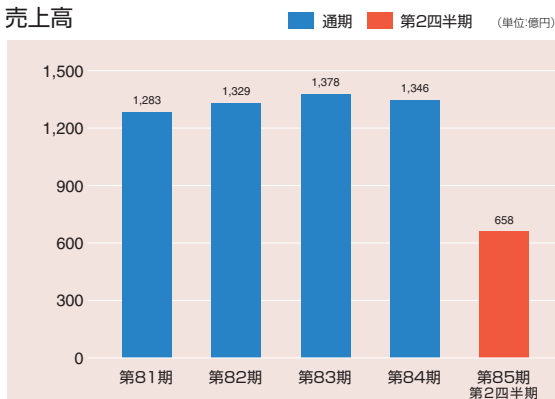
**114**億円  
前年同期比  
**+10.9%**

### 空調機器・ポンプ

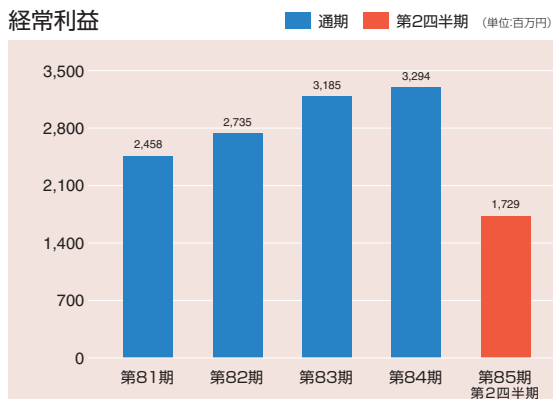
半導体等の部材不足により空調機器の生産、供給に遅延が生じましたがポンプは堅調に推移し、**前年同期比0.1%増の143億円**となりました。

**143**億円  
前年同期比  
**+0.1%**

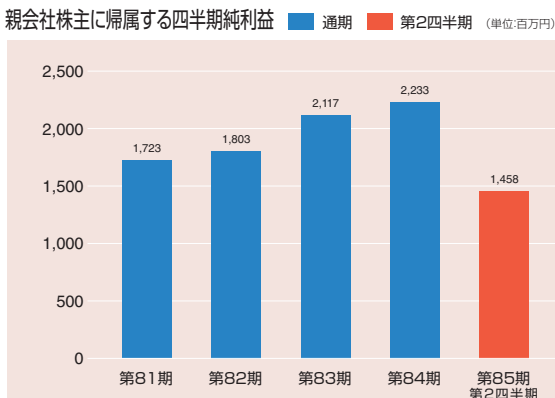
売上高



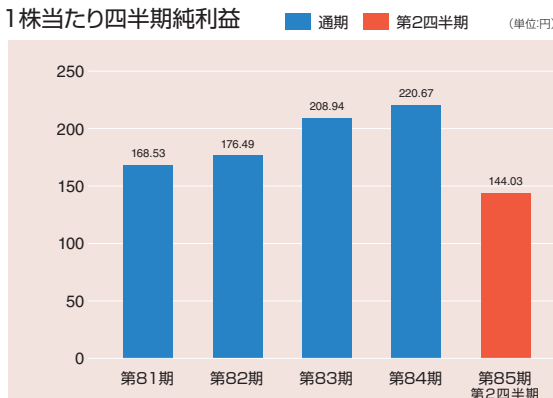
経常利益



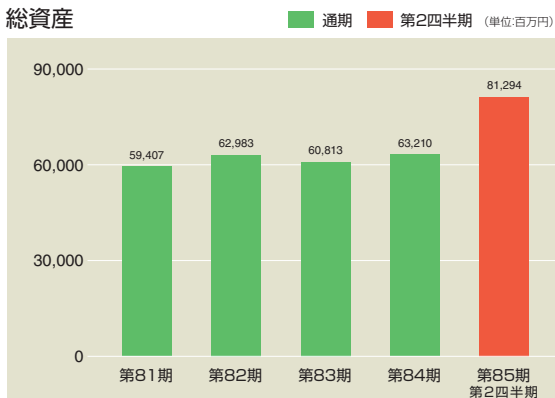
親会社株主に帰属する四半期純利益



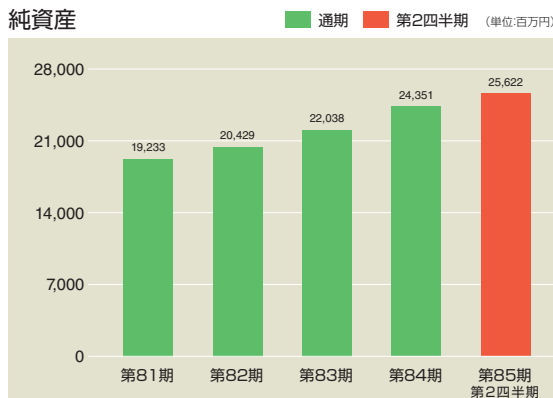
1株当たり四半期純利益



総資産



純資産



## 第2四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

科目	期別	当四半期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
<b>《資産の部》</b>			
<b>流動資産</b>		<b>56,897</b>	<b>39,649</b>
現金及び預金		4,830	3,661
受取手形及び売掛金		29,416	22,963
電子記録債権		12,032	3,426
商品		7,828	7,009
その他		2,817	2,612
貸倒引当金	△	28	24
<b>固定資産</b>		<b>24,397</b>	<b>23,561</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>12,208</b>	<b>11,829</b>
<b>無形固定資産</b>		<b>309</b>	<b>335</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>11,879</b>	<b>11,395</b>
投資有価証券		6,539	6,345
長期貸付金		341	390
その他		5,046	4,706
貸倒引当金	△	49	50
<b>資産合計</b>		<b>81,294</b>	<b>63,210</b>

（単位:百万円）

科目	期別	当四半期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
<b>《負債の部》</b>			
<b>流動負債</b>		<b>50,405</b>	<b>35,345</b>
支払手形及び買掛金		13,521	15,027
電子記録債務		8,681	9,400
短期借入金		24,425	7,425
1年内返済予定の長期借入金		1,281	1,356
その他		2,496	2,135
<b>固定負債</b>		<b>5,266</b>	<b>3,513</b>
長期借入金		1,930	256
その他		3,335	233
<b>負債合計</b>		<b>55,671</b>	<b>38,859</b>
<b>《純資産の部》</b>			
<b>株主資本</b>		<b>23,674</b>	<b>22,525</b>
資本金		542	542
資本剰余金		466	456
利益剰余金		23,178	22,043
自己株式	△	512	517
<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>1,880</b>	<b>1,757</b>
その他有価証券評価差額金		1,596	1,486
土地再評価差額金		314	314
退職給付に係る調整累計額	△	31	43
<b>新株予約権</b>		<b>49</b>	<b>49</b>
<b>非支配株主持分</b>		<b>18</b>	<b>18</b>
<b>純資産合計</b>		<b>25,622</b>	<b>24,351</b>
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>81,294</b>	<b>63,210</b>

## 第2四半期連結貸借対照表の要点

## 資産の部

資産合計は前期末に比べて、18,083百万円増加(+28.6%)し、81,294百万円となりました。これは主に、電子記録債権の増加等によるものです。

## 負債の部

負債合計は前期末に比べて、16,811百万円増加(+43.3%)し、55,671百万円となりました。これは主に、資金調達手段の変更に伴う短期借入金の増加等によるものです。

## 純資産の部

純資産合計は前期末に比べて、1,271百万円増加(+5.2%)し、25,622百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。

## 第2四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	
	当四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	65,810	60,844
売上原価	58,664	54,344
売上総利益	7,146	6,500
販売費及び一般管理費	5,916	5,530
営業利益	1,229	970
営業外収益	559	503
営業外費用	59	73
経常利益	1,729	1,400
特別利益	485	25
特別損失	14	2
税金等調整前四半期純利益	2,200	1,423
法人税等	741	492
四半期純利益	1,459	931
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,458	929

## 第2四半期連結損益計算書の要点

## 売上高

前第2四半期連結累計期間比で4,966百万円増加しました。

## 営業利益、経常利益

前第2四半期連結累計期間比で売上総利益が645百万円増加（+9.9%）、販売費及び一般管理費は386百万円増加（+7.0%）し、営業利益は259百万円、経常利益は329百万円それぞれ増加しました。

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益が増加したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は528百万円増加しました。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	
	当四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,574	△ 18,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 516	△ 2,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,271	22,085
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,180	1,006
現金及び現金同等物の期首残高	3,616	3,416
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	33
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,806	4,456

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要点

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ349百万円増加し、4,806百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

**(営業活動によるキャッシュ・フロー)**

営業活動の結果、使用した資金は16,574百万円となりました。これは主に、売上債権の増加等によるものです。

**(投資活動によるキャッシュ・フロー)**

投資活動の結果、使用した資金は516百万円となりました。これは主に、保険積立金の積立による支出等によるものです。

**(財務活動によるキャッシュ・フロー)**

財務活動の結果、得られた資金は18,271百万円となりました。これは主に、資金調達手段の変更に伴う短期借入金の増加等によるものです。

## 人と企業と社会のサステナビリティに向けて

### (1) 「人」のサステナビリティ

- ・健康 — 健康管理、食事、運動
- ・運動 — 運動管理、体、技、心
- ・医療 — 予防医療、検診、診断、診療

### (2) 「企業」のサステナビリティ

- ・CS — 顧客第一、相手思考、4位1体（ベストパートナー）
- ・成長 — 得意先、仕入先、新規（年5%以上成長）
- ・進化 — 営業、業務、物流（生産性5%以上向上）

### (3) 「社会」のサステナビリティ

- ・H（ヘルス） — 健康企業を目指す
- ・S（ソサエティ） — プライム市場への挑戦
- ・D（デジタル） — 全社、業界DXへの取り組み
- ・G（グリーン） — カーボンゼロ社会への挑戦

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## H：ヘルス ～健康企業を目指す

<テーマ>

- ① 健康—健康企業を目指した各種取り組み、金の認定
- ② 医療—医療機関に対するサポート
- ③ スポーツ—テニス、ゴルフを中心としたCSR活動、育成活動



### H (Health) ヘルス

- ① 健康企業
- ② 医療
- ③ スポーツ





## S：ソサエティ ～プライム市場への挑戦

<テーマ>

- ① 産学連携－大学との共同研究の実施
- ② 社会貢献－TTC、沖縄テニス協会との各共同事業
- ③ 市場選択－各ステークホルダーに対する社会的責任



S (Society) 社会

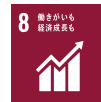
- ① 産学連携
- ② 社会貢献
- ③ 市場選択



## D：デジタル ～DXへの取組み

<テーマ>

- ① 社内DX－生産性の向上、効率化の推進
- ② システム連携－取引先との連携強化
- ③ 業界プラットフォーム－みらいクラウドへ



D (Digital) デジタル

- ① 社内DX
- ② システム連携
- ③ 業界プラットフォーム



## G：グリーン ～カーボンニュートラルへの挑戦

<テーマ>

- ① 再生可能エネルギー活用（全社RE100）
- ② カーボンゼロ（ZEB、ZEH対応）
- ③ グリーン活動の展開



G (Green) グリーン

- ① 再生可能エネルギー活用
- ② カーボンゼロ
- ③ グリーン活動





環境 (水)

給排水設備研究会との取組み



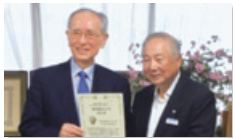
エネルギー

太陽光発電を使ったゼロエネ化への取組み



健康

健康企業として金の認定を更新



スポーツ (テニス)

チーム・個人ともに優勝をめざす



スポーツ (ゴルフ)

ジュニアゴルファーの教育・育成



産学連携

大学との共同研究



4位1体 未来活動

みらい会・みらい市を開催



人をつくる

施工研修・Eラーニング



仲間をつくる

管工機材商組合・管工事組合



## 株式の状況 (2021年9月30日現在)

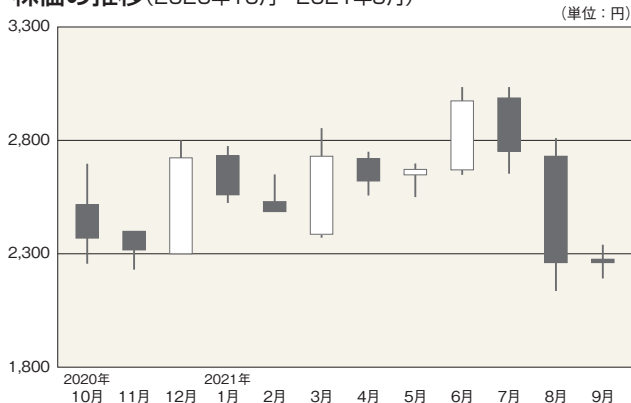
1	発行可能株式総数	35,000,000株
2	発行済株式の総数	10,646,526株
3	株主総数	3,317名

## 大株主の状況

大株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ハット企画	2,866千株	28.12%
橋本総業従業員持株会	677	6.65
橋本総業取引先持株会	560	5.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	455	4.47
橋本総業得意先持株会	336	3.29
橋本政昭	281	2.75
株式会社三井住友銀行	272	2.67
日本生命保険相互会社	242	2.37
株式会社小泉	130	1.28
阪田貞一	125	1.23

(注) 1. 上記のほか、自己株式が456千株ありますが、上記大株主より除いております。  
2. 持株比率は自己株式(456千株)を控除して計算しております。

## 株価の推移 (2020年10月~2021年9月)



## 会社の概況 (2021年9月30日現在)

商号	橋本総業ホールディングス株式会社	
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町9番9号 Tel.03-3665-9000 (代)	
設立	1938年3月15日	
資本金	542百万円	
役員	代表取締役社長	橋本 政昭
	代表取締役副社長	阪田 貞一
	取締役専務執行役員	田所 浩行
	取締役常務執行役員	伊藤 光太郎
	取締役常務執行役員	佐山 秀一
	取締役常務執行役員	倉本 順一郎
	取締役常務執行役員	佐々木 地平
	社外取締役	宇野 輝
	社外取締役	松永 和夫
	社外取締役	相京 重信
	社外取締役	吉田 友佳
	社外取締役	宮川 眞喜雄
	社外取締役	宮内 豊
	監査役 (常勤)	橋本 和夫
	監査役	森口 昭治
	監査役	中村 中
	監査役	吾妻 裕
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>傘下グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務</li> <li>不動産の賃貸、管理</li> </ul>	
上場証券取引所	東京証券取引所	
証券コード	7570	

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告の方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが できないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行なう。

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願い致します。

## 橋本総業ホールディングス株式会社

### ●オフィシャルURL

<https://www.hat-hd.co.jp>

### ●ENGLISH URL

<https://www.hat-hd.co.jp/fronten>

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町9番9号

Tel.03-3665-9000(代)

